

氏名	佃 志津子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	医療福祉 医療ソーシャルワーク 医療心理				
学位	博士（生涯発達科学）、修士（カウンセリング）				
学歴	2010年3月筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程修了 2021年3月筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程修了				
経歴	1998年～2011年市川市保健医療福祉センター市川市リハビリテーション病院、2013年～2016年神奈川県立病院機構（神奈川県立こども医療センター、神奈川県立がんセンター）、2016年4月～埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授				
所属学会（役職）	日本保健医療社会学会、日本カウンセリング学会、日本老年行動科学会、日本社会福祉学会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本発達心理学会、等会員				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	医療福祉論	○	15	医療を社会との繋がりの中で捉える視点を培うことを目的とし、医療を成り立たせる法制度とシステム、診療報酬、医療保険等の社会保障制度、医療関連職種と連携体制、価値と倫理などを伝える授業とした。		
2	医療ソーシャルワーク論	○	15	小児周産期医療、リハビリテーション医療と障害、高齢者医療、退院支援と地域連携、意思決定支援、情報管理など、保健医療分野におけるソーシャルワークの実践や多角的な支援の視点を培う授業とした。		
3	精神障害リハビリテーション論・	○	15	アクティブラーニングにより、精神科・精神保健領域における各種評価や人間理解の多角的視点、メンタルヘルス支援等の知識と技術を培う授業とした。3年次（精神科ソーシャルワーク論Ⅳ）と同時開講。		
4	精神科ソーシャルワーク論Ⅳ	○	15	アクティブラーニングにより、精神科・精神保健領域における各種評価や人間理解の多角的視点、メンタルヘルス支援等の知識と技術を培う授業とした。2年次（精神障害リハビリテーション論）と同時開講。		
5	ヒューマンケア論		2	全学科の1年生・編入生を対象としたヒューマンケア論において「自己決定と意思決定」のテーマで講義を2コマ行った。		
6	スタートアップ・セミナー		6	全学科の新生・編入生を対象としたスタートアップ・セミナーにおいて、第3回（キャンパスライフ）、第5回（情報の収集とまとめ）、第7回（医療関連情報の収集）の講義を担当した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ソーシャルワーク演習Ⅱ		15	「医療における支援」をテーマに、患者・家族理解の視点や多職種協働の視点を培うグループワーク、ロールプレイを行った。		

2	ソーシャルワーク演習Ⅲ		15	グループワークについて、基本的な視点とグループプロセスの学習から、模擬的なグループワークの演習と振り返りを行った。
3	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	「自己理解と他者理解」と「心のケア」「死生観」をテーマに、対話分析、心理尺度、絵画統覚検査、映像視聴、グループワーク等を組み合わせた演習を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	保健医療分野のソーシャルワークについて、事例検討やロールプレイ、グループ学習、患者・家族との対話へ場への参加等により多角的な視点を培うことを目的とした演習を行った。
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	事例検討、グループ学習、病院でのフィールドワークの企画など通じて、患者・家族支援の実践的な学びを深めるとともに、専門職としての準備性を獲得することを目的とした演習を行った。
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	
7	卒業研究		2022年4月～2022年12月	学部生3名の卒業研究（卒業論文・研究発表を含む）について指導を行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		15	医療機関、地域包括支援センター、福祉事務所における実習の事前学習を指導した。
2	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2022年8月～10月	医療機関、地域包括支援センター、福祉事務所における実習指導を担当した。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ		15	医療機関、地域包括支援センター、福祉事務所における実習の事後指導を行った。
4	IPW実習		2022年8月～10月	医療機関に配属された学生6名のIPW実習指導を担当した。
5	(新カリキュラム) ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1	実習指導の一環として、実習の事前学習とアセスメントの視点、および各種ワークシート活用に関する講義を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022年4月～12月	主指導	3名 副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学(社会福祉学専攻)	実習指導者講習会において「実習指導概論」の講義を担当した。	2022年6月
2	社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学(社会福祉学専攻)	実習指導者講習会において「実習スーパービジョン論Ⅰ・Ⅱ」演習分担当した。	2022年7月
3	高校講座（進路企画・模擬授業）	東京都立江北高等学校	「レジリエンス～折れないところって何だろう～」というテーマで高校生に模擬講義を行った。	2022年6月
4	オープンカレッジ講座（卒業生支援講座・専門職スキルアップ講座）	埼玉県立大学(社会福祉学専攻)	「新カリキュラム社会福祉士実習説明会～円滑な実習の受け入れに向けて～」のテーマで開催し、「新カリキュラムにおけるソーシャルワーク実習の概要」の講義を担当した。	2022年9月
5	オープンカレッジ講座（卒業生支援講座・専門職スキルアップ講座）	埼玉県立大学(佃志津子)	ソーシャルワーカーのアセスメント講座「家族支援の理論と技法」というテーマで、卒業生及び県内のソーシャルワーカーの現任者に講義を行った。	2023年3月

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	公益社団法人埼玉県社会福祉士会	倫理委員会委員	2019年4月～2023年3月
2	埼玉県八潮市	八潮市 地域福祉計画推進委員会委員	2019年4月～2023年3月

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	地域のがん体験者	メディカル・カフェの開催（地域のがん体験者との対話の場）	2022年12月17日
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援会・就職対策部会 委員	2022年4月～	
2	全学的委員会及びセンター業務等	学生対応スキル向上のための教職員研修会 企画運営担当	2022年9月21日	
3	全学的委員会及びセンター業務等	ダイバーシティ推進委員会 相談員	2018年4月～	
4	全学的委員会及びセンター業務等	県立病院との連携促進に関する会議 担当	2021年10月～	
5	学科等における委員会等	新カリキュラムソーシャルワーク実習科目責任者会	2021年11月～	
6	大学広報活動	オープンキャンパス:模擬講義「医療における支援」	2022年8月6日	
7	学生支援	1年次 キャリアデザイン講座	2022年6月24日	
8	学生支援	2年次 キャリアデザイン講座	2022年6月24日	
9	学生支援	3年次 進路支援企画「就職活動スタートガイダンス」	2022年7月7日	
10	学生支援	2年次・3年次 学生生活応援講座	2022年7月8日	
11	学生支援	1年次 学生生活応援講座	2022年7月21日	
12	学生支援	3年次 進路支援企画「4年生から学ぶ進路選択・就職活動の極意」	2022年12月15日	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			